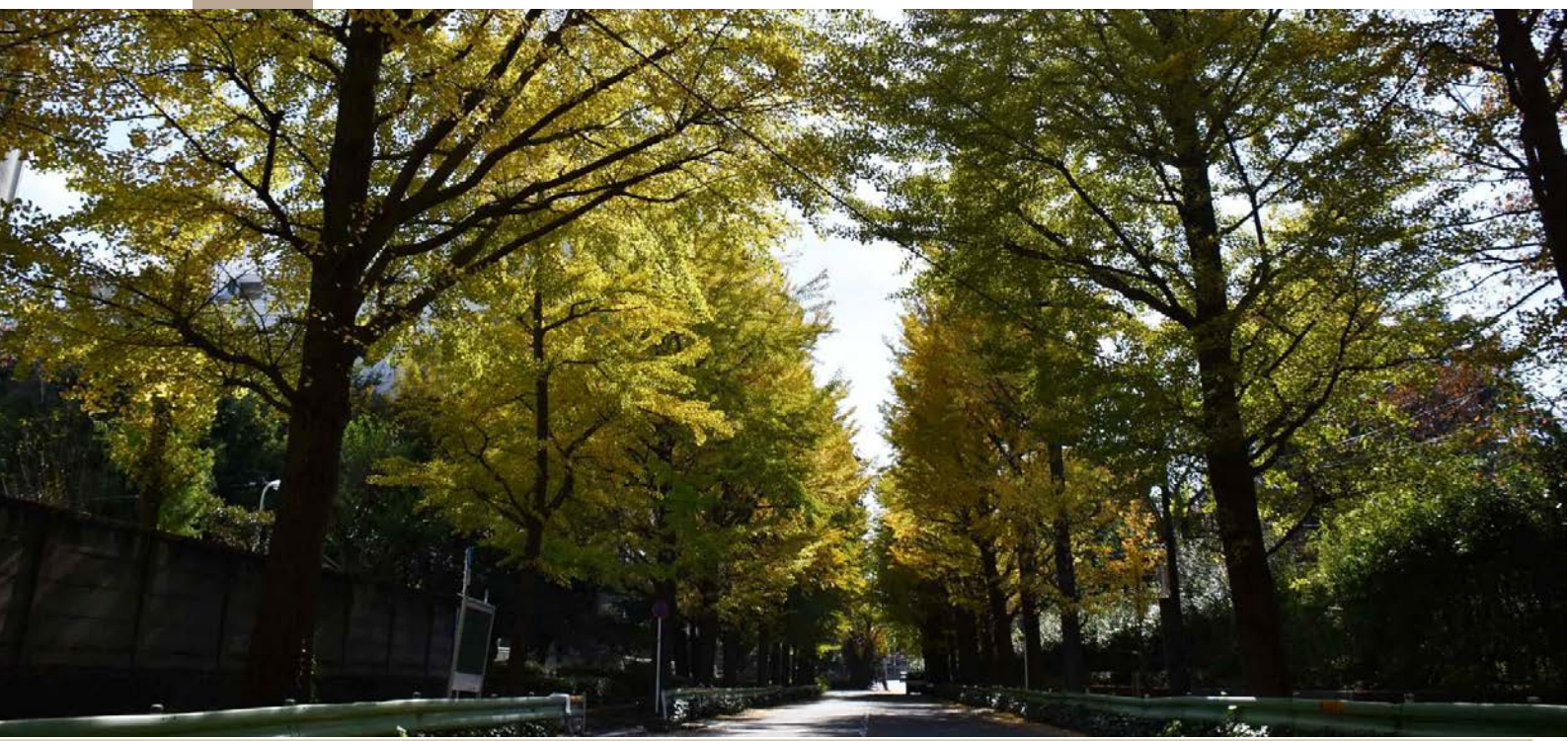
第３章
目標達成に向けた施策の展開



第３章　目標達成に向けた施策の展開

基本方針１　省エネのまちづくり

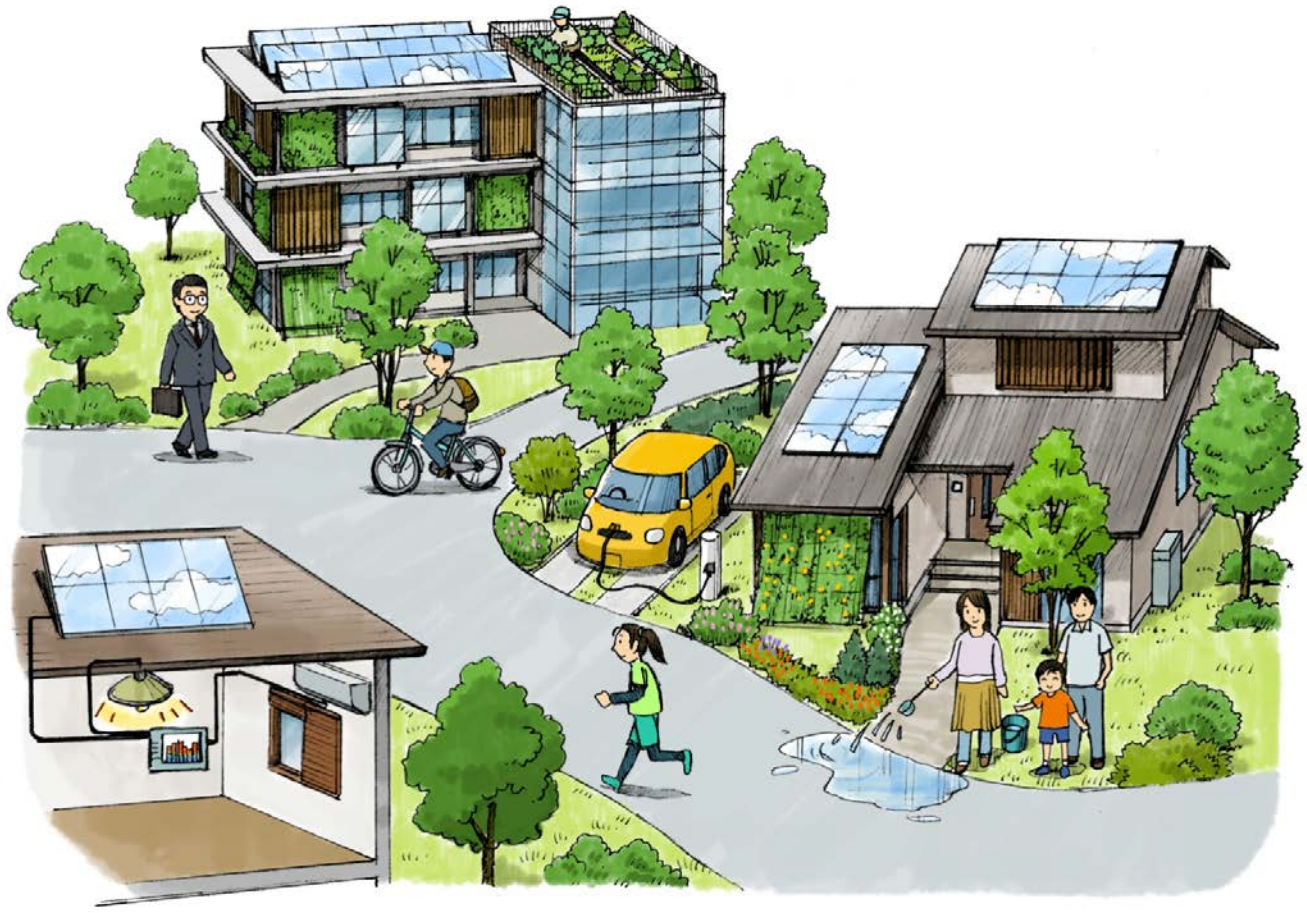
地球温暖化対策を推進する

〔将来像〕

一人ひとりが省エネルギーを中心に、できることから地球温暖化対策に取り組むとともに、エネルギーを効率よく生み出し、賢く利用する最先端の技術を暮らしに取り入れることで、快適な都市生活を享受しつつ、エネルギーを無駄なく効率的に利用し、温室効果ガス（二酸化炭素）排出量を大幅に削減した省エネのまちを実現します。

〔取組方針〕

こうした将来像を目標に、エネルギーを大量に消費する社会から、環境にやさしいライフスタイルや事業活動への転換に取り組むとともに、エネルギーを賢く使う住環境の整備を進めていきます。



（イラストはイメージです）

〔課題と方向性〕

２０１５（平成２７）年１２月に、１９６の国と地域が参加する公平で実効的な２０２０（平成３２）年以降の法的枠組みとして「パリ協定」が採択され、２０１６（平成２８）年５月には我が国の地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進するための計画である「地球温暖化対策計画」が閣議決定されました。この計画では、「日本の約束草案」を踏まえ、温室効果ガスを２０３０（平成４２）年度までに２０１３（平成２５）年度比で２６％削減することを目標としており、従来の取組の延長では実現が困難な大幅な温室効果ガスの排出削減を目指すことが求められています。

また、東京都では、２０１６（平成２８）年３月に策定した「東京都環境基本計画」において、温室効果ガスを２０３０（平成４２）年までに２０００（平成１２）年比で３０％削減する目標を定めています。

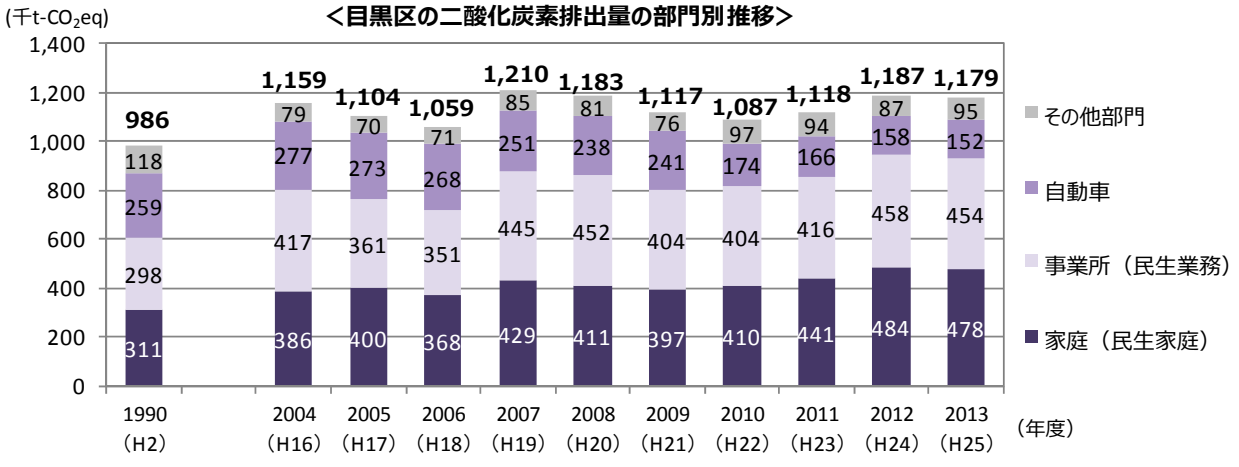
区内の温室効果ガス（二酸化炭素）排出量は、２０１３（平成２５）年度現在１，１７９千t-CO_2eq*です。区では、家庭や事業所から排出される量が占める割合が高いことから、家庭や事業所における省エネルギー対策、再生可能エネルギー*導入に継続して取り組むとともに、更なる省エネルギーの推進に向け、エネルギーを無駄なく賢く使うライフスタイル（エネルギーマネジメント*等）への転換に関する取組を充実していくことが必要です。さらに、国全体で推し進められている水素社会の実現に寄与する、水素エネルギー活用の普及啓発や、国が新たに計画を策定した気候変動への適応策への対応も求められます。適応策のうち、特に、目黒区を含む都市部では、すでにヒートアイランド現象が発生していることから、今後も引き続き、ヒートアイランド現象の緩和に向けた取組の推進が必要です。

また、区は、最も身近な自治体として、区内の大規模な事業所のひとつとして、省エネルギー・再生可能エネルギー設備等の導入、庁用車への低燃費車導入等の低炭素化に向けた取組の推進が必要です。

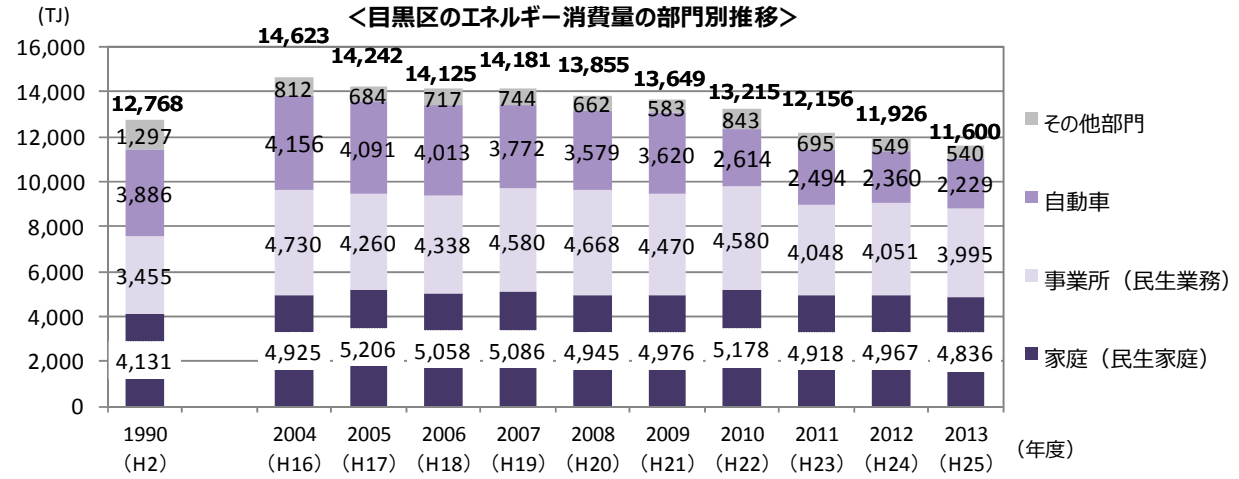
＜温室効果ガス排出量削減目標＞

	２０２０（平成３２）年度	２０３０（平成４２）年度	２０５０（平成６２）年度
日本の約束草案 （２０１５（平成２７）年7月１７日 地球温暖化対策推進本部決定）	－	**2013 年度比 26%削減** （2005 年度比 25.4%削減）	－
国 地球温暖化対策計画 （２０１６（平成２８）年5月１３日 閣議決定）	**2005 年度比 3.8%削減**	**2013 年度比 26%削減** （2005 年度比 25.4%削減）	**80%削減**※ （基準年明記なし）
東京都 東京都環境基本計画 （２０１６（平成２８）年３月策定）	－	**2000 年比 30%削減**※	－
目黒区 目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次） （２０１４（平成２６）年３月策定）	**2010 年度比 7%削減**	－	－

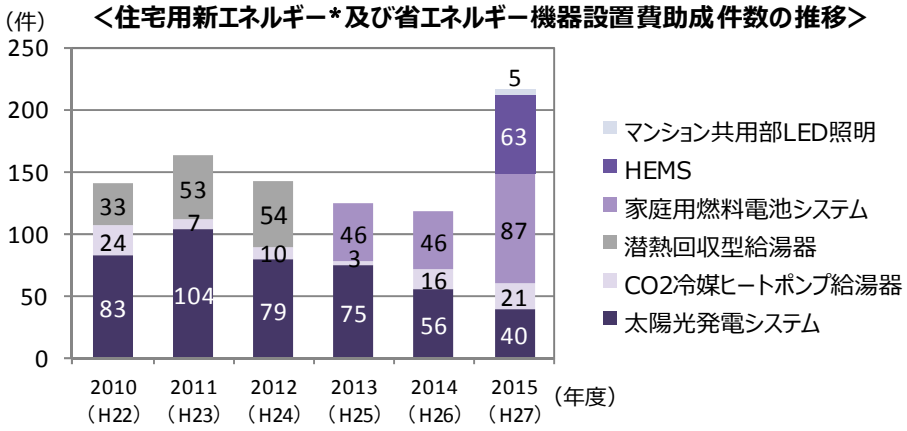
※：目標年次は暦年



出典：オール東京６２市区町村共同事業みどり東京・温暖化防止プロジェクト「特別区の温室効果ガス排出量」（２０１６（平成２８）年3月）



出典：オール東京６２市区町村共同事業みどり東京・温暖化防止プロジェクト「特別区の温室効果ガス排出量」（２０１６（平成２８）年3月）



〔「施策の目標」設定にあたっての考え方〕

・施策の目標は、区民、事業者の行動を重視した施策と、設備投資が必要なエネルギーに関する施策に分けて設定します。

・「目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次計画）」ですでに取り組んでいる「気候変動への適応策の推進」を設定します。

〔指標〕

◎ 成果指標

区分	項目（例）	目標
基本方針	省エネ行動に取り組んでいる人の割合※	増加

※：環境に関するアンケート調査で測定する項目

◎ 関係計画に基づく成果指標※※

区分	項目	目標
基本方針	二酸化炭素排出量	２０１０（平成２２）年度を基準とし、区域全体で２０１４（平成２６）～２０２０（平成３２）年度の間に毎年度１％以上、２０２０（平成３２）年度において７％以上削減
	エネルギー消費量	

※※：「目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次計画）」で定められている指標

◎ 取組点検項目

区分	項目（例）	目標（方向）
施策の目標１－１	「めぐろ笑（しょう）エネトライ*」参加件数（☆）	増加
	めぐろグリーンアクションプログラム*（事業所版）参加件数（☆）	増加
施策の目標１－２	住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費助成件数（☆）	増加
	街路灯のＬＥＤ化	推進
施策の目標１－３	環境配慮型の道路整備*	推進

（☆）：重点的に取り組むテーマに係る取組

施策の目標 1-1　低炭素のライフスタイルへの転換

◇施策の進め方

区域の大部分が住宅地で占められている目黒区において、地球温暖化対策を進めるには、こまめに節電する、公共交通機関や自転車を利用する、自動車を運転するときはエコドライブを心がけるなど、区民が日常のライフスタイルの中で具体的にできることを行動に移し、ライフスタイルを転換していくことが重要です。

区内にオフィスや店舗を構える事業所においても、そこで働く一人ひとりが日常の事業活動の中で省エネルギー行動を推進していくことが大切です。

このため、区では、区民、事業者に向けて、低炭素のライフスタイル、事業活動の実践につながる普及啓発、支援を進めていきます。

◇主な施策

●省エネ・節電行動の推進

区民・事業者等に対して、日常生活や事業活動における省エネルギー・節電の取組を国等の制度も取り入れながら普及啓発していくことで、自主的な行動を促します。

●省エネ・低炭素型の製品への買換え等の賢い選択の普及啓発（新規）

省エネ・低炭素型の製品への買換え等の賢い選択について、普及啓発します。

●商店街等の環境配慮行動支援

私道や商店街街路灯のＬＥＤ化事業等、環境配慮行動を支援します。

●環境に配慮した事業活動の支援

環境負荷が少ない設備の導入を促進するため、中小企業を対象とした融資制度に優遇利率を適用します。

●公共交通等の利用促進

通勤や買い物等にマイカーの使用を控え、自転車や公共交通機関の利用を促進します。また、区道の現状を踏まえた、自転車走行環境整備の検討を進めます。

しろくまフロートくん
地球温暖化対策啓発キャラクター

めぐろ笑エネトライ

施策の目標 1-2　エネルギーを賢く使う暮らしの創造

◇施策の進め方

温室効果ガス（二酸化炭素）排出量を大幅に削減していくためには、区民、事業者が省エネルギー行動を進めると同時に、建物や設備の面からも省エネルギー化を進めることが重要です。

このため、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ＺＥＨ）*やネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ＺＥＢ）*を視野に入れ、家庭や事業所における太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入、省エネルギー機器の普及を図るとともに、公共施設においても再生可能エネルギーや省エネルギー設備の導入、外断熱化等、建物の省エネルギー性能の向上に取り組みます。

◇主な施策

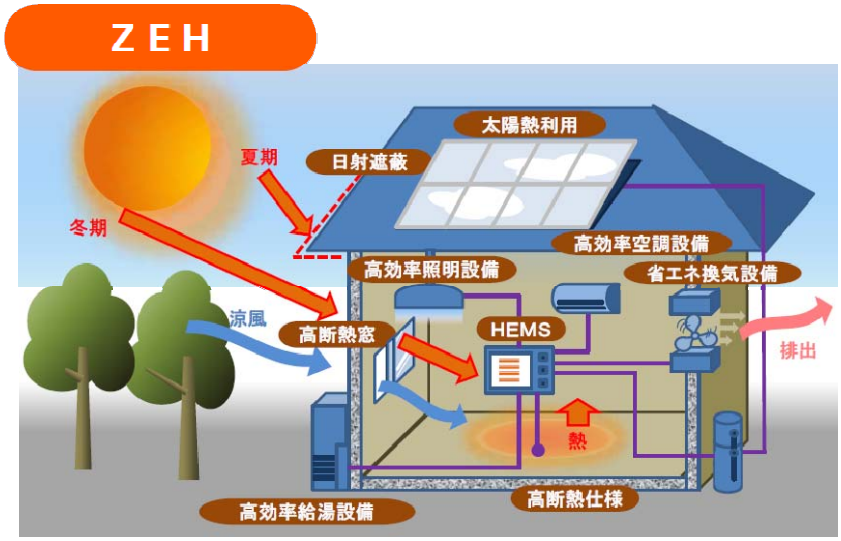
●再生可能エネルギーや省エネルギー設備等の導入促進

太陽光発電等、家庭における再生可能エネルギー及び省エネルギー機器の普及を図ります。

●公共施設の低炭素化の推進

区有施設の改修、改築時に外断熱、太陽光発電等を導入するなど、省エネルギーに配慮した施設の整備を推進します。

また、道路における省エネルギー対策として街路灯のＬＥＤ化を推進します。



ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ＺＥＨ）

出典：経済産業省資料

施策の目標 1-3　気候変動への適応策の推進

◇施策の進め方

温室効果ガスの削減を進めても世界の平均気温は上昇し、２１世紀末に向けて、気候変動の影響のリスクが高くなると予測されています。気候変動の影響に対処するため、温室効果ガスの排出の抑制等を行う「緩和」に加え、すでに現れている影響や中長期的に避けられない影響に対して「適応」を進めることが求められています。

また、区内では、ヒートアイランド現象による気温上昇の影響もみられ、熱帯夜が増加傾向にあるほか、集中豪雨との関連性も指摘されています。

これらの影響に対する適応策として、熱中症・感染症予防対策に関する普及啓発、ヒートアイランド現象及び都市型水害への対策を推進していきます。

◇主な施策

●ヒートアイランド現象への対策

環境配慮型の道路整備、緑化の推進、打ち水等ハード・ソフトの両面から促進します。

●熱中症・感染症予防対策に関する普及啓発等（新規）

気候変動の影響による発生リスクの増大が懸念されている熱中症・感染症予防に関する区民への普及啓発等を進めます。

●都市型水害への対策（新規）

透水性舗装や浸透施設の整備により、雨水の地下への浸透を進めます。また、雨水流出抑制施設（雨水浸透・一時貯留）の整備の促進を図ります。

環境配慮型の道路整備
（薄い灰色部分が遮熱性舗装）